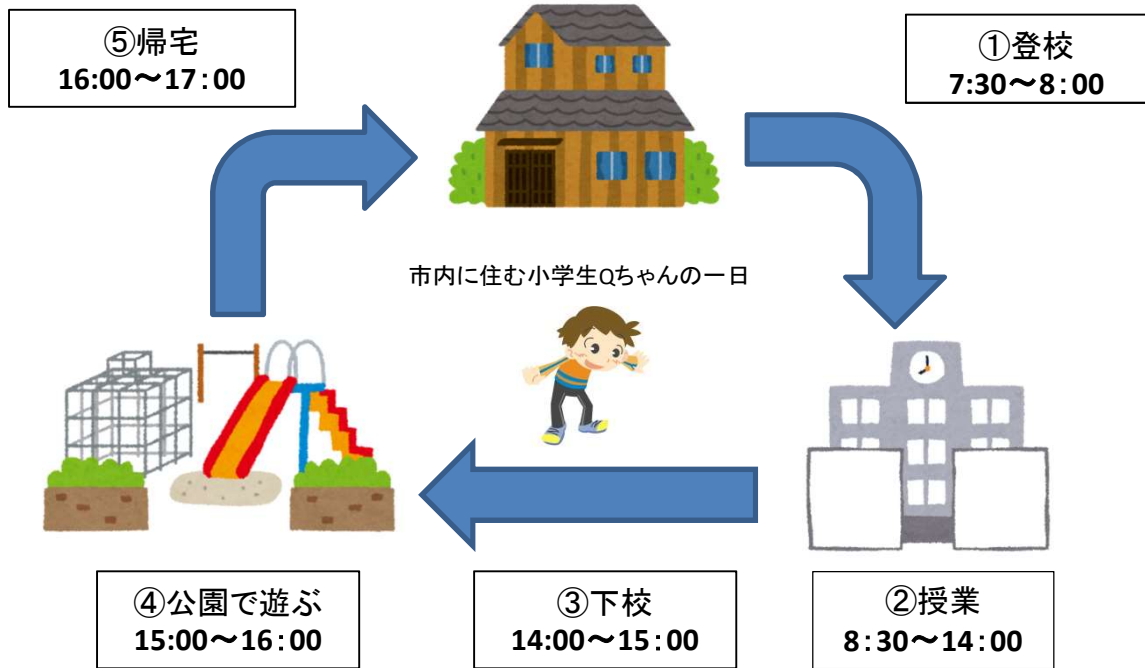


D-シャトルは、お子さんの行動範囲の放射線量を詳しく測定できます

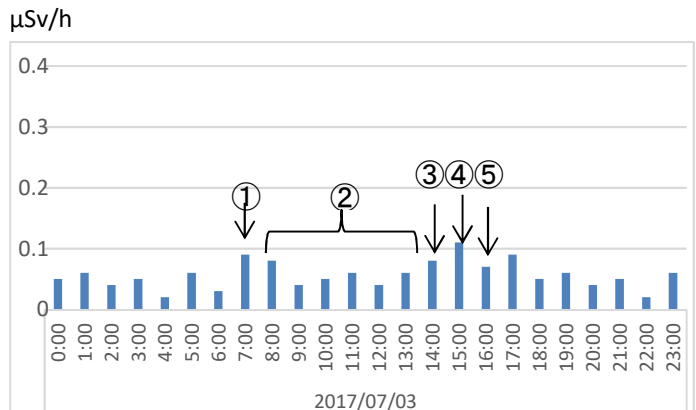
1時間毎の線量分かるため、お子様がいつどの場所でどのくらいの被ばく線量なのか、行動記録票と測定結果を照らし合わせることで一目で分かります。



【行動記録票例】

積算線量計行動記録票		No. 氏名 Qちゃん					
時刻	6	9	12	15	18	24	
7/3 (月)	7:00	8:30	14:00	15:00	16:00		
	~	~	~	~	~		
	8:00	14:00	15:00	16:00	17:00		
	登校 ①	授業 ②	下校 ③	公園 ④	帰宅 ⑤		

【線量測定結果例(グラフ図)】



D-シャトルの特徴

- 短い測定期間(2週間)で、年間追加被ばく線量が分かる。
- ガラスパッチと比べ、より細かい時間毎の線量が分かる。

裏面もご覧ください

D-シャトルに関するQ&A

D-シャトルに関して、特に市民のみなさんから質問の多いものをQ&A形式にしました。

Q 常に身に着けていなければならないのですか？

A ランドセルやいつも持ち歩くバック等に入れていただいても測定はできます。D-シャトルを着用することによって行動に支障をきたすような場合や怪我等が懸念される場合には、外していただいても問題ありません。

D-シャトルの装着例👉



Q D-シャトルごと洗濯してしまいました・・・。

A 電子回路を利用しているため洗濯など水没してしまった場合、使用できなくなるためご注意ください。

Q 携帯電話と同じポケットに入れても構いませんか？

A 電磁波防止機能はついておりますが、誤作動により一時的に線量の測定値が上がる可能性があります。別々のポケットに入れるなど、携帯電話と線量計が密着することは避けてください。

上記のQ&A以外にもご不明な点があれば、下記の問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

(問い合わせ先: 放射能対策室 電話37-2270)